受取商品券

【重要性：B】

ＰＯＩＮＴ！

①　受取商品券の内容を理解しよう！

②　仕訳をマスターしよう！

主な勘定科目

「受取商品券」勘定（資産）

（１）受取商品券とは？

デパートなどが発行する商品券（しょうひんけん）は、贈答用（ぞうとうよう）など販売促進（はんばいそくしん）を目的として発行しています。また、加盟百貨店の共通商品券、ギフトカード、ビール券や自治体・商店街・商工会議所等が発行した商品券など、自社が発行した商品券以外の商品券を扱う場合もあります。この自社で発行した以外の商品券を**受取商品券**（うけとりしょうひんけん）**（他店商品券**（たてんしょうひんけん）**）**といいます。なお、自社で発行した商品券については日商簿記3級では出題されません。

（２）会計処理

商品を売り上げ、代金として受取商品券を受け取った場合、その商品券の発行体に対して後日、代金を請求できますので、「**受取商品券**」勘定（**資産**）で処理します。

①　受取商品券を受け取った時

例題　**商品1,200円を売り上げ、代金は自治体発行の商品券1,000円と現金200円を受け取った。**

将来、金銭を受け取る権利（資産）を「受取商品券」勘定（資産）の増加として処理します。

借方科目	金額	貸方科目	金額
受取商品券	**1,000**	**売上**	**1,200**
現金	**200**		

②　受取商品券の精算

例題　**自治体発行の商品券1,000円を引き渡して換金請求**（かんきんせいきゅう）**を行い、現金を受け取った。**

金銭を受け取る権利（資産）が減少しましたので「受取商品券」勘定（資産）の減少として処理します。

借方科目	金額	貸方科目	金額
現金	**1,000**	**受取商品券**	**1,000**

クレジット売掛金

【重要性：B】

ＰＯＩＮＴ！

①　クレジット売掛金の内容を理解しよう！

②　仕訳をマスターしよう！

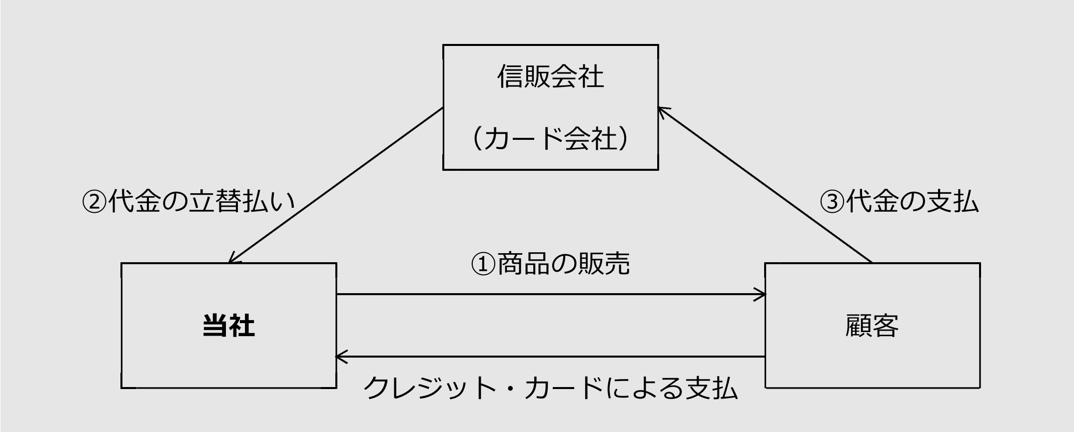
主な勘定科目

「クレジット売掛金」勘定（資産）

「支払手数料」勘定（費用）

（1）クレジット売掛金とは？

クレジット取引とは、クレジットカードでの支払いにより顧客へ商品を販売するが、代金は手数料が差し引かれて信販会社（しんぱんがいしゃ）から入金される取引をいいます。クレジット取引によりあとで信販会社から代金を受け取る権利を**クレジット売掛金**といいます。



（2）会計処理

クレジット売掛金は、「売掛金」勘定（資産）とは区別して「**クレジット売掛金**」勘定（**資産**）で処理します。なお、信販会社へ支払う手数料は原則として、**売上時**に「**支払手数料**」勘定（**費用**）で処理します。したがって、「クレジット売掛金」勘定（資産）に計上される金額は、手数料が控除された後日、信販会社から入金される金額となります。

例題　**商品10,000円をクレジット払いにて販売した。なお、信販会社へのクレジット手数料は販売代金の２％であり、販売時に計上する。**

借方科目	金　額	貸方科目	金　額
クレジット売掛金	**9,800**	**売　　上**	**10,000**
支払手数料	**200**		

支払手数料：10,000×２％＝200

例題　**信販会社から手数料が差し引かれた手取額9,800円が当座に振り込まれた。**

借方科目	金　額	貸方科目	金　額
当座預金	**9,800**	**クレジット売掛金**	**9,800**

なお、信販会社への手数料を**入金時**に計上する方法も考えられます。この場合、「クレジット売掛金」勘定（資産）に計上される金額は、販売価額（手数料が控除される前の金額）となります。なお、日商簿記3級においては問題の指示に従って下さい。

例題　**商品10,000円をクレジット払いにて販売した。なお、信販会社へのクレジット手数料は販売代金の２%であり、入金時に計上する。**

借方科目	金　額	貸方科目	金　額
クレジット売掛金	**10,000**	**売　　上**	**10,000**

例題　**信販会社から手数料200円が差し引かれた手取額9,800円が当座に振り込まれた。**

借方科目	金　額	貸方科目	金　額
当座預金	**9,800**	**クレジット売掛金**	**10,000**
支払手数料	**200**		

支払手数料：10,000×２%＝200

商品売買② 問題

問題1　以下の取引に関して、仕訳を行いなさい。

①　得意先へ商品100,000円を販売し、送料4,000円を加えた合計額をは翌月末に受け取ることとした。なお、送料4,000円は後日支払うこととした。

②　販売目的の中古自動車を30,000円で購入し、代金は小切手で支払った。また、運送業者へ送料1,000円を現金で支払った。なお、当社は自動車販売業を営んでいる。

③　得意先へ商品50,000円を売り上げ、代金は翌月末に受け取ることとした。なお、発送費2,000円を小切手を振り出して支払った。

④　商品80,000円を仕入れ、代金は小切手で支払った。なお、仕入先負担の送料3,000円を運送業者へ現金で支払った。

⑤　以前に得意先へ掛け売り上げした商品60,000円のうち、5,000円が品違いのため返品された。なお、返品に伴い、掛代金を減額した。

⑥　商品65,000円を売り上げ、代金は当社が加盟している商店街の共通商品券42,000円と現金23,000円を受け取った。

⑦　当社が加盟している商店街の共通商品券42,000円の精算を行い、現金42,000円を受け取った。

⑧　商品80,000円を仕入れ、代金は掛けとした。なお、先方負担の送料3,000円を現金で支払ったが、掛代金に含めて処理する。

⑨　商品66,000円をクレジット払いにて売り上げた。なお、信販会社へのクレジット手数料は売価の１%であり、売上時に認識する。

商品売買②　答案用紙

問題1

	借 方 科 目	金　　額	貸 方 科 目	金　　額
①				
②				
③				
④				
⑤				
⑥				
⑦				
⑧				
⑨				

商品売買② 解答解説

問題1 解答

	借方科目	金額	貸方科目	金額
①	売掛金 発送費	104,000 4,000	売上 未払金	104,000 4,000
②	仕入	31,000	当座預金 現金	30,000 1,000
③	売掛金 発送費	50,000 2,000	売上 当座預金	50,000 2,000
④	仕入 立替金	80,000 3,000	当座預金 現金	80,000 3,000
⑤	売上	5,000	売掛金	5,000
⑥	受取商品券 現金	42,000 23,000	売上	65,000
⑦	現金	42,000	受取商品券	42,000
⑧	仕入	80,000	買掛金 現金	77,000 3,000
⑨	クレジット売掛金 支払手数料	65,340 660	売上	66,000

問題1　**解説**

①　送料も得意先から回収できるので、売上に含めて処理します。売上諸掛を支払った場合、「発送費」勘定（費用）などで処理します。

②　自動車販売業では「自動車」という「商品」を販売しますので、「販売目的の中古自動車の購入」は「仕入」勘定（費用）で処理します。また、当社負担の仕入諸掛は商品の取得原価に含めますので、「仕入」勘定（費用）で処理します。

③　売上諸掛を支払った場合、「発送費」勘定（費用）などで処理します。

④　先方負担の仕入諸掛を立替払いした場合、特に指示がない場合には「立替金」勘定（資産）で処理します。

⑤　売上戻りは「売上」勘定（収益）の減少として処理します。

⑥　当社で発行した以外の商品券を受け取った場合、「受取商品券」勘定（資産）で処理します。

⑦　当社で発行した以外の商品券を精算する場合、「受取商品券」勘定（資産）の減少として処理します。

⑧　先方負担の仕入諸掛を立替払いした場合、掛代金に含めるとの指示があるため「買掛金」勘定（負債）の減少として処理します。なお、以下の２つの仕訳で考えるとわかりやすいでしょう。

借方科目	金額	貸方科目	金額
仕入	**80,000**	**買掛金**	**80,000**
買掛金	**3,000**	**現金**	**3,000**

⑨　クレジット取引に係る売上債権は「クレジット売掛金」勘定（資産）で処理します。信販会社への支払手数料を売上時に認識しますので、「クレジット売掛金」勘定（資産）の金額は、売上金額から当該支払手数料を控除した金額となります。

借方科目	金額	貸方科目	金額
クレジット売掛金	**65,340**	**売上**	**66,000**
支払手数料	**660**		

クレジット売掛金：66,000－支払手数料660＝65,340

支払手数料：66,000×１％＝660